

各県の観光副読本を紹介

04年の高崎県を皮切りに、児童生徒を対象とした「観光副読本」を発行し、観光教育に力を入れようという自治体が出てきた。現在副読本を発行する宮崎、沖縄、山形、宮城各県の副読本を紹介する。

宮崎県

「宮崎観光副読本―私たちにできることってなあに?―わたしたちの観光・リゾート宮崎」



発行年	発行人	発行数	体裁	ページ数	対象	執筆者	内容
2004年(現在3版を使用中、表紙イメージは第2版)	宮崎県・みやざき観光コンベンション協会	17万部	B5判	39ページ	小学4年生、高校3年生	同県観光振興課	<ul style="list-style-type: none"> 1時間目:「観光ってなんだろう?」 2時間目:「宮崎の新しい国際会議都市づくり」 3時間目:「宮崎は日本一のスポーツランド!」 4時間目:「神話・伝説にあふれる宮崎」 5時間目:「美しく豊かな自然は宮崎の宝」 6時間目:「おらかでやさしい宮崎のひと」 7時間目:「ホスピタリティ」ってなんだろう?」 8時間目:「観光」という仕事 9時間目:「もっと知ろう!宮崎のこと」

沖縄県

「沖縄県めんぞーれ沖縄観光学習教材」



発行年	発行人	発行数	体裁	ページ数	対象	執筆者	内容	掲載データ	特徴
2006年(現在第2版を使用中)	沖縄県・おきなわ観光ビジターズビューロー	約6万部	B5判	47ページ	小学4~6年生(800円で一般に販売)	同県観光担当部局、観光関連事業者、教育関係者	<ul style="list-style-type: none"> 第1章 「観光」って何だろう? 第2章 沖縄にはたくさんの方が来る 第3章 沖縄観光の魅力 第4章 沖縄の観光産業と働く人たち 第5章 私たちと観光 	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県の概要 	<ul style="list-style-type: none"> 観光入込数の変遷、リピーター・ビギナー割合の変遷など 沖縄県の主要産業としての「観光」を具体的に説明する内容 観光の現場での「職場体験のすすめ」なども掲載

山形県

「個性と魅力ある地域づくりをめざして―地域の主役はみなさん一人ひとり―」



発行年	発行人	発行数	体裁	ページ数	対象	執筆者	内容	掲載データ	特徴
2008年	山形県	2千部	A5判	32ページ	県内の観光関連の授業を行う小中学校やNPO法人	同県観光振興課	<ul style="list-style-type: none"> 観光って何? なぜ、人は「旅」をするのでしょうか 人との出会い 住みやすい「地域」が旅行者にとっても魅力ある「地域」 身近なものが観光・交流の手段になる 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> 観光の概念や交流の重要性を説明する内容 特に観光・交流による「地域づくり」に焦点を当てる 地域おこしに取り組む人の言葉を数多く紹介

宮城県

「宮城で観光をまなぼう―観光のススメ」



発行年	発行人	発行数	体裁	ページ数	対象	執筆者	内容	掲載データ	特徴
2008年	宮城県	5千部	A4判	24ページ	観光地を有する地域の中学校、観光関連の授業に取り組む中学校	同県観光課	<ul style="list-style-type: none"> 第1章 これまでの観光 第2章 宮城の自慢は何だろう? 第3章 観光のお仕事 第4章 お客様をおもてなし 第5章 これからの観光 	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県の概要、アクセス方法 	<ul style="list-style-type: none"> 温泉や観光イベントなど観光関連の情報を織り込んだ内容